

様式例第4号の2

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

年 月 日

京都府知事 様

譲受人 氏名  
譲渡人 氏名

下記のとおり転用のため農地（採草放牧地）の権利を設定（移転）したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 当事者の住所等	当事者の別	氏 名				住 所				
	譲 受 人 (借人)									
	譲 渡 人 (貸人)									
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在地	地 番	地 目		面積 ㎡	所有権以外の使用収益権 が設定されている場合		市街化区域・市街 化調整区域・その 他の区域の別		
			登記簿	現況		権利の 種類	権利者の氏 名又は名称			
	計		㎡ (田	㎡、畑	㎡、採草放牧地		㎡)			
3 転用計画	(1) 転用の目的			(2) 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細						
	(3) 事業の操業期間 又は施設の利用 期間	年 月 日から 年間								
	(4) 転用の時期及び 転用の目的に係る 事業又は施設の概 要	工事計画	第 1 期 (着工 年月日から年月日まで)				第 2 期	合 計		
			名 称	棟 数	建築面積 ㎡	所要面積 ㎡		棟 数	建築面積 ㎡	所要面積 ㎡
			土地造成							
			建 築 物							
			小 計							
工 作 物										
小 計										
計										
4 権利を設定し又は移 転しようとする契約 の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別			権利の設定・移転の時期		権利の存続期間		その他	
5 資金調達についての 計画	造成費＝ 円 建築費＝ 円 土地取得費＝ 円									
	自己資金＝ 円 借入資金＝ 円 その他（補助金）＝ 円									
6 転用することによっ て生ずる付近の土地 ・作物・家畜等の被 害防除施設の概要	<div>・土砂の流出防止対策：</div> <div>・雨水排水対策：</div> <div>・汚水・生活雑排水対策：</div> <div>・その他：</div>									
7 その他参考となるべ き事項										

(記載要領)

- 1 当事者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地、をそれぞれ記載してください。
- 2 譲渡人が2人以上である場合には、申請書の差出人は「譲受人何某」及び「譲渡人何某外何名」とし、申請書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請することができるものとします。この場合の別紙の様式は、次の別紙1及び別紙2のとおりとします。
- 3 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 4 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 5 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

(別紙１) 申請書の１の欄 当事者の住所等

当事者の別	氏 名	住 所
譲 受 人		
譲 渡 人		

(別紙２) 申請書の２の欄 許可を受けようとする土地の所在等

譲渡人の氏名	所 在	地 番	地 目		面 積	所有権以外の使用収益権 が設定されている場合		市街化区域・ 市街化調整区 域・その他の 区域の別
			登記簿	現 況		権利の種類	権利者の氏名 又は名称	
					m <sup>2</sup>			
計 筆 m <sup>2</sup> (田 m <sup>2</sup> 、畑 m <sup>2</sup> 、採草放牧地 m <sup>2</sup> )								

(記載要領) 本表は、(別紙１) の譲渡人の順に名寄せして記載してください。